

## 賃金所得の企業内格差と企業間格差

### 一 健康保険組合の月次報告データを用いた実証分析 一\*

富士通総研 経済研究所 齊藤 有希子†  
富士通総研 経済研究所 河野 敏鑑

#### [要旨]

賃金格差の問題は企業の賃金決定行動と深く関わっており、企業の賃金決定慣行の変化と賃金格差の関係が議論されてきている。しかしながら、企業内の格差を測定することは非常に難しい。本稿は、健康保険組合の月次報告データを用いて、企業内格差と企業間格差を分けて測定し、格差全体にそれぞれがどのように寄与しているかを分析した。

分析の結果、企業内の賃金格差は男性の方が大きい、企業間の賃金格差は女性の方が大きい、全体としての格差では、女性の方が大きくなることが分かった。一方で、2003年から2006年にかけて男性の格差は大きく拡大し、女性の格差の水準に近づいてきたことが確認された。また、この背後では、企業内の格差の拡大が非常に大きく寄与していたことが分かった。以上のことから、賃金格差に関する議論において、企業内格差が重要な役割を果たしていることが明らかになった。

キーワード： 賃金格差、企業内格差

JEL classification： J31, D31

---

\* 本稿の執筆にあたり、森晃爾産業医科大学副学長、岩村充早稲田大学教授他、HIA(Health Impact Assessment)と企業価値評価に関する研究会のメンバーからは貴重なコメントをいただいた。記して謝意を呈する。なお、本稿の見解は著者個人のものであって、富士通総研の見解を示すものではない。

† (連絡先) 〒105-0022 東京都港区海岸 1-16-1 ニューピア竹芝サウスタワー

齊藤有希子：[saito.yukiko@jp.fujitsu.com](mailto:saito.yukiko@jp.fujitsu.com)

河野敏鑑：[kouno.toshiaki@jp.fujitsu.com](mailto:kouno.toshiaki@jp.fujitsu.com)